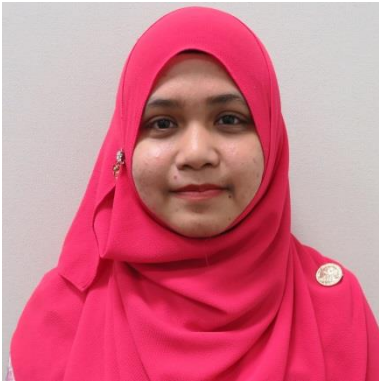


【最優秀賞】



氏名 NURULHUDA BINTI SHAFIEE
(ヌルフダ ビンティ シャフイー)

国・地域 マレーシア 

在日期間 1年5ヶ月

勤務先 日置市（国際交流員）

タイトル： アラマア！

「アラマア」もう私の出番ですね。はじめまして。マレーシア出身の日置市国際交流員のヌルフダと申します。先ほど使った「アラマア」という言葉、皆さんはどんな時に使いますか。子供が意外なことをしたり、家から出かけたけれど財布を忘れた時などによく使うかと思います。予想外や思いもよらない出来事があったときや驚いたときなどに使う言葉ではないでしょうか。

私と「アラマア」のエピソードを話したいと思います。去年、初めて鹿児島に来たとき、コンビニのレジに並んでいるおばあちゃんが後ろにいる私をじろじろ見ていました。派手なマレーシアの民族衣装を着る私が珍しいのかなあと思いました。おばあちゃんが支払いをする時に「アラマア1円足らんなあ。」と言って困っていました。それを聞いた私は1円を財布から出しておばあちゃんにあげました。

コンビニの外で、おばあちゃんは何度も私に「ありがとう」と言いました。私は「おばあちゃん、先ほどアラマアって言いましたよね。アラマアってどんな意味ですか。」と聞きました。おばあちゃんは「アラマアは女性がよく使う言葉だよ。びっくりした時や、何かやってしまった時によく使うよ。」と教えてくれました。説明を聞いた私は、すごく驚きました。「おばあちゃん。マレーシア語にも同じ言葉がありますよ。しかも意味まで同じです！」私が想像した通りでした。

マレーシア語では、驚いた時、「Alamak（アラマ）」と言います。例えば、外出先で突然雨が降ってきて、外に干したままの洗濯物を思い出すと「Alamak（アラマ）」と言います。

私は国際交流員として小・中学校へ行くことが多く、子供たちにマレーシア文化を紹介しています。そのときは、日本との違いだけでなく、共通点についても話をします。日本語の「アラマア」とマレーシア語の「Alamak（アラマ）」は意味が全く同じことを子どもたちに話した時、初めはみんな「マジで？」とか「うっそ！」と言って、信じて

くれませんでした。「本当ですよ！でも、日本語は「アラマア」と言いますよね。マレーシア語は「Alamak（アラマ）」といます。イントネーションは違うけど、使い方と意味は日本語と同じです。」と説明しました。マレーシア語と日本語はルーツや使われている文字も違うけれどこんな言葉があるなんて面白いと思いませんか。

よく考えてみると、私たちの人生も同じです。肌の色や国などが異なっているけど共通点は必ずどこかにあります。私が考えた共通点は、「私たちが同じ地球に住んでいる人間である」ということです。そのことに気づけば、差別問題は発生しないのではないのでしょうか。また、違いをきっかけとして新しいことを学び、異なる文化に触れることもできます。違いがあるからこそ理想的な交流ができ、お互いを知るきっかけになるのではないかと私は信じています。白い紙よりカラフルに塗られた紙の方が目を惹きやすいと思います。

私は「アラマア」という言葉を通して、言葉の豊かさを知ることができました。じろじろ見ていたおばあちゃんに、マレーシアという国があるということを伝えることができました。国境を超えて、他者を知ることだけではなく、その違いから自分のことも知ることができるのです。

おばあちゃんが「アラマア」の表現と意味がわからなければ、私に教えることができません。みんなが自分の国の文化や言葉などをちゃんと把握すれば、自分の国の魅力をより多くの人に伝えられるのではないのでしょうか。2020年の東京オリンピックに向けて外国人との交流が今後ますます増えていきます。その際、おもてなしはもちろん、その人たちとの違いと共通点を探求してみたいかたがででしょうか。お互いを理解し、尊重し合えば世の中の平和が保てるでしょう。

「アラマア」もう時間です。

ご清聴ありがとうございました。